

## 美濃東部区域再評価第1回第三者委員会 議事概要

1. 実施日 平成20年6月6日(金)

2. 場所 岐阜県<sup>えなし</sup>恵那市

3. 出席者

第三者委員 安藤 辰夫 自然総合研究所 所長  
" 中嶋 康博 東京大学大学院農学生命科学研究科准教授  
" 溝口 勝 東京大学大学院情報学環教授  
" 山本 千夏 グラウンドワーク東海理事

(敬称略、五十音順)

事務局等 農林水産省農村振興局企画部事業計画課事業総合調整室長  
" 総務課課長補佐

(独)森林総合研究所森林農地整備センター農用地業務部長 ほか

4. 現地調査の概要

工事実施中、一部供用開始した農業用道路及び区画整理を実施した団地の現地調査を行うとともに、受益者から農業経営の状況、事業の効用発揮の状況について聞き取りを行った後、第三者委員による意見交換を行った。

なお、岡田悠子委員は、都合により6月12日(木)に現地調査を実施した。

5. 第三者委員会の概要

(1) 委員長選出

委員長には、全会一致で中嶋委員を選出した。

(2) 8月の公表に向けた今後の委員会の運営

第三者委員会の今後の進め方については、今回の委員会の意見・指摘を踏まえ、事務局で議事録を整理し、再評価案、基礎資料を準備して、次回7月23日の第三者委員会で意見のまとめを行うこととした。

今回の議事録は、ホームページにより公表するとともに、次回の第三者委員会からは公開とし、取材、傍聴ができることとした。

(3) 意見・指摘等

関係団体の意向を聞くに当たり、本事業を契機に設立された「恵那市美濃東部土地改良区」の意向も確認できるよう配慮願いたい。

棚田について、都市住民との交流促進、食育の啓発などによる効果が期待されるので、これに係る情報発信について工夫、配慮されることが望ましい。

区画整理と農業用道路が一体となって整備されたことにより、荒茶の加工場の効率的な利用など地域再編への手掛かりになる可能性もあることが確認された。

環境との調和への配慮に引き続き留意するとともに、東海北陸自動車道と国道41号を結ぶ区間は、新設路線の建設となることから、特に留意して頂きたい。

現地調査及び意見交換の結果、事業概要等の説明内容については、基本的に了解とする。